35）紐育州シャンデーケン在，旧野口英世博士別荘と東京歯科大学（その2）東京歯科大学による購入と現状

The Villa of the Late Dr. Hideyo Noguchi in Shandaken, New York State and the Tokyo Dental College (Part 2) The Purchase by the Tokyo Dental College and The Present Condition

東京歯科大学　○吉峯規雄，堂　信一，森山徳長
柳澤孝彰，石川達也，高江洲義矩
在ボストン，U. S. A　堀内　實

Norio Yoshimine, Shinichi Do, Norinaga Moriyama, Takaaki Yanagisawa,
Yoshinori Takayesu and Tatsuya Ishikawa, *Tokyo Dental College*
Minoru Horiuchi, *Boston, U. S. A*

旧野口英世博士別荘購入の経緯は1991（平成3）年4月，旧野口英世博士別荘を視察取材のため訪れたエッセイスト飯沼信子女史から，野口英世記念会宛にビデオテープと家主メロディー・アイカート夫人が別荘の売却を希望している旨の書簡が届けられたことに始まる．野口英世記念会より同記念会の理事であった金竹哲也学長を通して東京歯科大学に別荘購入についての打診があり，同年9月に金竹哲也学長，関根弘学監，石川達也千葉病院長，高添一郎大学院研究科長の4理事がシャンデーケン旧野口英世博士別荘を現地視察した．その報告を受け11月29日開催の東京歯科大学法人理事会において購入を決定した．別荘地の広さは約13,000 m²（約3,900坪）である．売主であるアイカート夫人が野口博士ゆかりの方へ売却を希望，本学としても他者への売却は忍び難く，購入の主目的としては，博士ゆかりの施設を保存することと，本学の重要な文化遺産として将来計画をもって活用することであった．

法人理事会での購入決定に基づいて，三井不動産ニューヨーク社を通じて売買契約の準備に入った．1993（平成5）年1月25日，シャンデーケン現地にて，関根弘学長，石川達也副学長，高添一郎大学院研究科長，五十嵐尭昭同窓会長の4理事が出席して売買契約を締結した．契約額は30万USドル．現地管理人として，隣町フィニーシア在住の不動産業者リチアデラ氏と管理委託契約を交わした．リチアデラ氏からの管理報告を受けて本学との連絡並びに総合的な管理を，三井不動産ニューヨーク社に委託した．

建物，設備の診断であるが，別荘地の建物等のチェックを含めた実状把握と管理の進め方等についての協議のため，1995（平成7）年3月に事務職員吉峯規雄法人事務局庶務課長と狩野龍二学生課員を派遣し，現地の実状視察と三井不動産ニューヨーク社との打合わせを行った．

別荘は築後80年近く経過しており，老朽化のため損傷部分がかなりあることがわかった．対応策として損傷部分の修理を行う前に建物の基本構造のチェックの必要性があるため，専門家による建物診断を行うことにし，鹿島インターナショナル社に依頼した．

同年3月から5月にかけて，専門家による建物診断を実施．アスベスト，鉛，害虫，建築構造，屋根，外壁，窓と扉，室内壁・天井，室内床，配管，暖房設備，電気設備等について調査，点検し，同年10月に，結果と対応策（改修工事）に関するレポートが鹿島インターナショナル社から提出された．

次に改修工事は，専門家による建物診断結果と対応策に関するレポートに基づいて実施した．

1995（平成7）年度の第一次改修工事は，ゲートの設置，立入禁止サインの設置，地下室の木柱補修，床下及びポーチの取りかえ・補修，外壁の塗装・補修，正面および裏階段の補修，屋根窓の補修等であった．

1996（平成8）年度の第二次改修工事は，アスベスト除去，敷地内のキャビンの撤去等を行った．

第一次・第二次改修工事の確認と工事の進め方について協議するため，1997（平成9）年6月に吉

峯規雄が，現地実状視察と打合わせを行った．その結果，屋根の全面改修，プールの埋め戻し，建物内部の補修及びオリジナル部分の保存修復等を順次実施すること，特に保存すべきオリジナル部分については専門家に診断・設計をゆだねることとした．

1997 (平成 9) 年度の第三次改修では，屋根の全面改修（オリジナルの杉板シングルウッドへの復元改修），プールの埋め戻し，既存の窓•建具の補修(窓はオリジナルのまま)，外部ポーチ補修工事等を行った．

1998（平成 10）年度の第四次改修では，室内天井，壁，床補修，外壁補修，電気設備改修，セキュリティ・アラーム新設，外周フェンス新設工事等を行った．これをもって，オリジナル部分の保存修復等を含めた一連の改修工事を完了した．

一連の改修工事の完了確認と今後の管理運営と活用方法検討のため，シャンデーケン現地実状視察をすべく本年5月23日我々はニューヨークに飛んだ．

1日目の午後ウッドローンに墓地に眠る野口英世とメリー夫人の墓参をした．

2日目はマイクロバスにて，以前に視察された堀内夫妻，三井不動産大竹正史氏を含め9名で新装なった別荘を訪れた．あいにくの強雨で先に近くのレストランで鹿島インターナショナル社加藤文則氏，現在管理人リチアデラ氏と昼食歓談し，同氏より Shandaken とは，原住民インディヘナの言葉で急な流れであることを知った．現在は Esopus Creek と呼ばれている．

雨上がりの別荘の一階各室の仕上がりを視察し，地下機械室，屋根裏部屋と倉庫室を丁寧に見て回った．各部屋の様子と昔使用した状況や間取りの検証も検討した．また裏庭の雨にそぼ濡れた柳の巨木も撮影した．新緑の鮮やかな周囲の山々，裏手の Esopus Creek も美しかった．

3日目はロックフェラー大学を訪問し，佐々茂先生から大学の歴史，研究の現況などにつきスライドを用いてご説明いただき，サミュエル•三郎•小出先生ともども，野口英世の胸像の置かれている図書館等見学した．

以上をスライドを供覧し報告したい．